



## ～若き心 集まるところ～

No.11

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 力石 裕司

やさ ことば たいど あふ へん だいちゅう  
優しい言葉や態度が溢れる「変な(?)」台中に！

あら とし はじ かげつ す ねんせい そつぎょう のに にち  
新たな年が始まり1ヶ月が過ぎました。3年生にとっては、卒業まで残り38日となりま  
した。しっかりと自分の進路を決定し、4月からの新たな生活に向けて、確実な準備と残り僅  
かな仲間との台中での生活で、たくさんの思い出を作ってほしいと思います。

今年度も、私立高等学校等の推薦受験希望者を中心に3年生30名と校長面接を行いました。私からの質問  
の「将来、どんな人になりたいですか?」には、どの生徒からも「周囲から頼られる人」「誰かの役に立てる人」  
「周りを笑顔にできる人」など、他の人との関係性を大切にしている言葉を聞け、心が温まりました。

そのようななか、冬休み明け初日の放送による全校集会では次のような話をしました。これまで様々な場面で  
生徒に伝えてきた“多様性”は、互いの存在を認め、自他を大切にすることで成り立ちます。その理解の一助と  
して全ての台中生に考えてほしいと思っています。

12月26日に昨年度に引き続き“台中スポーツフェス”が開催され、多くの生徒が参加してく  
れました。地域や保護者の方からのたくさんの支援をいただき、「地域の協力のお蔭」で台中生と  
先生方の素敵な笑顔が溢れる一日となりました。

中学生は、まだ日常的に使う言葉ではないと思いますが、「お蔭様」という言葉を聞いたことが  
ありますか?今日は新しい年のスタートに、この「お蔭様」という言葉について少しだけお話しし  
ます。この言葉の語源は、「陰」、つまり目に見えない助けや支えということです。表には見えに  
くい、「陰の支え」に気付いた時に感謝する言葉が「お蔭様」です。

この年末年始も、世界の様々な国や地域で戦争や紛争、飢餓は続き、今この瞬間でも、5歳未満  
の子どもに限っても、7秒に一人が飢えや病気、戦争の犠牲者として亡くなっていると言われてい  
ます。日本でも、幸せな気持ちで新年を迎えられた人ばかりではありません。犯罪被害、誹謗中傷、  
いじめ・・・毎日生きていくのが辛いと感じている人たちは決して少なくありません。

もちろん、皆さんの中にも、こうして笑顔で登校してきている中、いろいろな思いを抱えている  
人もいます。そんな中、私たちは、こうして新年を迎え、毎日食べるものもあり、登校し、  
友達にも会え、勉強し、限られた範囲ではあるかもしれませんが、自由に好きな時間に色々なこと  
をすることができます。それって当たり前のことでしょうか?12月の集会で話した、「普通」のこ  
とでしょうか?今の皆さんがこうしていられるのは、「誰のおかげ」ですか?少し考えてみてくだ  
さい・・・たくさんの人の顔を思い浮かべることができましたか?

今、皆さんが思い浮かべた、皆さんにとっての「お蔭様」の人たちは、これからも皆さんが何か  
に躓いたり、壁にぶつかったりした時にもきっと支えてくれるはずです。

そして、この一年、皆さん自身が、他の人たちにとっての「お蔭様」になれるよう、周りの人た  
ちをよく見てください。何かに苦しんでいる人、誰かの態度や言葉に悩んでいる人・・・皆さん自  
身が誰かの「お蔭様」になれば、多くの「お蔭様」が皆さんを支えてくれるはずです。このこと  
が、4月から色々な場面で話してきた、自分も周りも大切にし、認め合い、支え合いながら生きて  
いくことに繋がります。

他人や集団に関心がなく、自分本位の人たちが増えている今の社会、自分  
だけでなく、または、自分以上に周囲の人たちのことを大切に想い、優しい  
言葉や態度が溢れる生徒と教職員がいる学校・・・そんな、「普通」ではな  
い、「変な学校」を作ってみたいと思っています。

2026年、みんなで素敵な一年にしていきましょう！



# 1月23日（金）今年度最後の校内研究 ～先生たちも学んでいます！

本校では、今年度の校内研究のテーマを『おもしろそう・考えたい・話したい～自ら発信、議論できる生徒を  
目指した授業づくり』とし、よりよい授業を目指し研究を進めています。この日は、今年度最後の校内研究で、  
これまで長い間、本校の研究に対してご助言いただいている慶應義塾大学教職課程センター教授の藤本和久  
先生に朝からお越しいただき、2時間目から4時間目まで1年生の6教科の授業を見ていただきました。午後は  
1年4組の山崎先生による理科の授業公開を行った後、研究協議と藤本先生のご講演となりました。

多くの先生が参観する状況の中、どのクラス、どの授業でも、当たり前のようにタブレットを活用したり、  
ペアやグループで話し合ったりする“いつも通り”の姿が見られ、あと少しで「先輩」となる1年生は、もう立派  
な中学生として、頼もしく見えました。

私たち教師にとって、授業づくりにゴールはありません。その一人一人  
の授業改善に向けた意欲を高めたり、質を高めたりするには、全教職員  
がチームとして取り組むことが重要です。この日の研究協議では、教科・  
学年・年齢・経験を越えて先生たちが「一つの授業について語り合う」場面  
を目にして、とても嬉しい気持ちになりました。本校のすべての先生が、大切  
な台中生のため、同僚とともに授業改善に挑み続ける・・・そんな「学  
び続ける教師集団」を自指して、校内の研究体制をさらに強化していき  
たいと考えます。

研究協議の様子の写真が入ります。

そうだ、“理科室”へ行こう！



授業の様子・先生方のこだわりなどを発信します！

今回は1年4組理科の授業です！校内研究であったため、多くの先生たちに囲まれ  
ながらの授業でした。目標は「光の反射の法則を活用して、全身が映る鏡の大きさを  
求めることができる」です。研究授業であったため、事前の予想を検証する際のプリント  
を、難易度別に3種類用意して、生徒一人一人が自分で選択するという取組でした。後の  
研究協議では参観した先生たちから色々な意見が出ましたが、理科が得意な生徒も、  
苦手意識がある生徒も、興味をもって取り組み、様々な気づきや生徒同士の学び合いを生み出すための先生の  
工夫が随所に現れていて、先生の授業づくりへの思いを感じることができました。

授業の様子の写真が入  
ります。

授業の様子の写真が入  
ります。

また、授業のはじめに立てた予想が、検証により覆る生徒が多く、考えたり、悩  
んだり、発見したり・・・生徒たちの様々な表情をたくさん見ることができた素敵な  
授業でした。授業後には少し時間をとって、参観した先生たちから生徒へのインタビュー  
・・・「最初の予想では自分の考えを言語化するのが難しかったけど、活動の後の共有  
ではしっかりと説明することができた」「難易度がわかれていたのので、自分のペースで  
安心して取り組むことができた」などの声が聞かれました！

先生の授業へのこだわりは・・・？『人が何かを学びたいと思うのは、心が動いたときだと思います。そこ  
で、自分のイメージが覆るような展開や、「不思議だな～」と思える瞬間を授業の中で作り出すことを授業  
づくりの目標にしています。また、人の心を動かすには、自分の心が動く必要があると思うので、自分が「面白  
いな～」と感じるものを授業で扱うように意識しています。』

教頭先生のつぶやき・・・

生徒から「なにしてるの？」と聞かれたら、「暇してる。」と答えられる教師に！

20代の頃の研修で、ある講師の方からこのような返答ができる教師になってほしいと言われました。先週から教育  
相談の中で生徒の皆さんとの面談が行われておりますが、生徒の立場からすると、忙しそうにしている教師に相談し  
ようと思っても、遠慮してしまったり、ゆっくりと話を聞いてもらえないかもしれないと思ったりと、なかなか相談できな  
いと思います。家庭でも同じかもしれません。何かと忙しい日々ではありますが、日常的に気軽に相談できる雰囲気  
を醸し出せる大人でありたいと思う今日この頃です。